

## 令和4年度 第1回足近小学校学校運営協議会 議事録

1 日 時:令和4年5月13日(金)10:20~11:45

2 出席者:学校運営協議会委員 10名

羽島市教育委員会 教育支援センター所長補佐

3 内容

(1) 委嘱式と校長あいさつ

【所長補佐】

羽島市では、6年前に、地域と共にある学校をとコミュニティ・スクールの取組が始まった。3年間のコロナ禍で、大きな声でのあいさつや楽しい給食ができなくなった。子供の心にどう影響があるか心配である。試行錯誤しながらできることからやってもらっている。畑・環境整備・足近町花いっぱい・防災など、学校・地域・家庭が一体化し、実態を踏まえて意見交流し、魅力ある学校づくりを進めてほしい。

(2) 委員の紹介

\* 一覧表をもって確認

\* 委員長、副委員長、地域学校協働活動推進委員の決定

規約第10条、第1項 委員長・・・足近町コミュニティセンター協議会会長

副委員長・・・校長

地域学校協働活動推進委員・・・足近町コミュニティセンター館長

(3) 授業参観

\* 各学級4分ほど参観

(4) 協議

\* 学校経営方針の説明【学校長】

昨年度承認された方針を引き継ぐ

<今年度大切にしたいこと>

・「なかよく」「かしこく」「たくましく」

本校の教育目標の意味を折に触れ、子供たちに意識してもらえるよう伝えていく。

\* いじめ防止基本方針の説明【学校長】

・羽島市児童生徒のいじめの防止等に関する条例が8年ぶりに全面改正されたのを機に、足近小の「いじめ防止基本方針」も見直しをし、改定した。

\* 学校評価について【教頭】

・学校評価を「なかよく」「かしこく」「たくましく」「安心な学校」の4観点で前期と後期に実施予定である。

\* 現状について【学校長】

・2年生の畑の耕し、1年生のいちご狩り、5年生の田植え。いろいろなことができ、参加させていただいている。地域に支えられていることを実感している。

・来年6月6日に本校は150周年を迎える。足近の歴史を振り返るよい機会である。歴史講話等の充実をお願いしたい。

## (5) 意見交流

### 【委員】

子供たちの元気な姿が見られて、いいなあと感じた。人数が多い学級、少ない学級があるのは、足近の特徴。

### 【委員】

算数では、子供のユニークな発想があった。国際的には発言をすることが大事なので、人前で話せるようになることは必要。日本人は貯金をするを大切にしているが、投資などの金銭教育も必要ではないだろうか。

### 【委員】

授業参観をして、いろいろな考え方があったと思った。いろんな意見を発言させるのはよいこと。

### 【委員】

教室の前の掲示物がスッキリしていて良い。集中できない子への配慮がしてある。子供たちは背筋が伸びて集中して聞いている。授業が分からず、取り残されやすい子に目配りをして、底上げをしてほしい。

マスクをしていて表情が分かりづらいが、学校はどんなところを見ているのか。

⇒定期的に「あのねアンケート」をしている。登校時に声をかけ、反応の様子をみて、気付いたことを職員間で情報交換している。放課後児童教室とも連携を図っている。(学校長)

### 【委員】

挨拶の音がちょっと大きくなってきた。春休みに子供たちが遊んでいる様子を見て、コロナに慣れてきたと感じた。学校でのたてわりの活動も良い。ほほえましい関係をつくっている。

### 【委員】

まだ、コロナ感染者が出ている。お互いに気を付けたい。

### 【委員】

子供の元気な姿が見られて安心した。

150周年に向けては、史跡めぐりをコミュセンでもやっているのだから、協力していきたい。

### 【委員】

150周年に向けては、今年度から始めて、来年度形にしてはどうか。歴史講話を絡めたり、学校に残っているものを住民の皆さんにみてもらうのもよい。

### 【委員】

150周年については、足近町は街道があって、史跡もある。散策するなどして、足近の歴史を教えるのはどうか。

## (6) 閉会の挨拶【委員長】

貴重な意見の交流ができた。地元の小学校のことなので、地域みんなで全面的に協力していきたい。